

野角 満昭 議員
日本共産党議員会



難聴対策による認知症

予防策を

A 認知症の危険因子とされるさまざまの要因の一つに難聴が挙げられていることから、認知症予防策として有効であることが解明された。本市においても補聴器の使用促進が必要と考えられるが、本市での対応は。

(健康福祉部長)

質問の主な項目

- ・国保都道府県化について
- ・障がい者福祉サービスについて

市立病院で舌下免疫療法による花粉症の治療を

スギ花粉症における舌下免疫療法の内容及び効果は。

A アレルギーの原因となる花粉工キスの入った治療薬を年単位で舌の下に投与して体を慣らし、アレルギー症状が出ないようにするものです。薬剤の処方・使用に当たっては製薬会社が実施する講習を受講した医師に限り処方できるとされています。

(市立病院事務局長)

A 耳鼻咽喉科の診療項目に舌下免疫療法による治療を加えられないか。

Q 花粉症の治療は主に耳鼻咽喉科で行っていますが、すでに講習を修了し登録された医師がいることから、患者からの希望・相談等があれば対応可能となっています。

(市立病院事務局長)

質問の主な項目

- ・人口増対策について
- ・坂出、宇多津広域行政事務組合について

齊藤 義明 議員
市民の声



坂出ささえまろネットワーク等は地域コミュニティ協議会への布石か

Q 市長は地域コミュニティ協議会による、地域自らのためのまちづくりといった方向で、当該協議会を小学校区単位で設立しようとされているのではないか。坂出ささえまろネットワークや第2層協議体の設立はその布石ではないか。

A 坂出ささえまろネットワークは、地域における各種団体が連携して、高齢者に対する様々な生活支援活動等を地域において行おうとするものであり、地域コミュニティ協議会の前段階として発足したものではありませんが、地域における様々な団体が連携し、協力して取り組む整備体制やそこに至るまでのプロセスなどは参考となるものと考えています。

(市長)

部活動の活動時間等に対する国の指針は、保護者等に納得されるのか

スポーツ庁の示したガイドラインに沿って県教育委員会が策定した「教職員働き方改革プラン」では、中学校の部活動休養日としては週当たり2日以上、1日当たりの活動時間は長くとも平日2時間程度、学校の休業日は3時間程度と示されているが、保護者等には不満に思っている人もいるのではないか。

A 子どもたちが部活動を通して、バランスの取れた心身の成長と充実した学校生活を送るためにも、適切な休養日の設定について理解していただき、今後とも保護者や家庭、地域と連携、協力をし、ご支援を賜りたいと思います。また、このルールは全ての国公立私立の中学校・高等学校を対象にすると聞いています。

A 子どもたちが部活動を通して、バランスの取れた心身の成長と充実した学校生活を送るためにも、適切な休養日の設定について理解していただき、今後とも保護者や家庭、地域と連携、協力をし、ご支援を賜りたいと思います。また、このルールは全ての国公立私立の中学校・高等学校を対象にすると聞いています。

(教育長)

